

農業の基礎を学ぶセミナーを開催しています



第1回セミナー

峡南地域普及センターでは、直売所への出荷を目指すなど農業を本格的に始めた方を対象に、平成19年度から「基礎から学ぶ農業セミナー」を開催しています。

このセミナーは、栽培技術の基礎知識の習得により、農業技術のステップアップにつなげるための研修内容となっています。

研修生は、植物の生理や病気発生仕組みなど講義内容によっては少し難しい箇所もあるようですが、出席率は高く、少しでも多くのことを学び取ろうとする意欲が感じられます。

昨年度の研修生については、栽培の実践を学ぼうという有志が、あけぼの大豆の播種や病害虫防除、エダマメ収穫について、研修生の畑で実習や意見交換を行いました。これまでに習得した基礎知識をベースに、自分の栽培状況と比較しながら熱心に学んでいました。

当普及センターでは、このような学習会の機会を通じて、一人でも多くの方々が農業との関わりが深まるよう取り組みを進めていきます。



研修生のほ場での栽培実践講習会

地域の農産物を活用した加工品開発を支援しています

富士・東部地域においては農業者による農産加工品の開発が盛んに行われ、普及センターでは各関係機関と連携して商品開発を支援しています。

JA鳴沢村加工部会「樹型の里」では伝統野菜である「鳴沢菜」を使った商品開発に取り組み、昨年度より連携企業との打ち合わせや試作を重ねてきました。その結果、「古漬炒め」を来年から販売する目処が立ち、今年度試験販売を行った「混ぜご飯の素」についてもお客様から好評であったことから、本格的に生産を開始する予定です。

また、鳴沢村青年農業者会議女性部「なるさわ野の花会」は、村の特産であるスイーツ「めぐみ恵味ゴールド」のアイス最中を開発し、10月から販売を始めました。来年の観光シーズンに向けて販売促進や販路拡大に取り組んでいます。

このような農産物加工品の開発により、農産物のPRや規格外農産物の有効活用が可能となりました。普及センターでは、産地の更なる魅力発信につながるよう、引き続き商品開発を支援していきます。



↑商品開発
打ち合わせ
(樹型の里)

→
恵味ゴールドの
アイス最中
(野の花会)



試験研究成果発表会のお知らせ

総合農業技術センター | 日時:平成26年2月24日(火) 13:00~16:00
場所:甲斐市役所双葉ふれあい文化館(甲斐市下今井230)

果樹試験場 | 日時:平成26年3月5日(木) 13:00~16:00
場所:山梨市民会館(山梨市万力1830)

●詳しくは→
山梨県総合農業技術センター TEL:(0551)28-2496 FAX:(0551)28-4909 まで
山梨県果樹試験場 TEL:(0553)22-1921 FAX:(0553)23-3814 まで



今年も成果が
たくさん!

山梨県普及センターだより

Yamanashi Agricultural Extension Service Information

■編集/発行 山梨県総合農業技術センター ■住所 甲斐市下今井1100 〒400-0105
■Tel.0551-28-2496 ■Fax0551-28-4909
■URL.http://www.pref.yamanashi.jp/sounou-gjt/
■E-mail.sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

No.27
平成26年12月20日発行



「農家のお母さんと一緒にお得なツアー」が開催されました。

山梨きら星ネット中北ブロックでは、10月4日(土)に都市と農村との交流を目的とした、農業体験・田舎郷土料理づくりツアーを開催しました。

このツアーは、農村女性ならではの目線で様々な農村資源を活かした食や農村の魅力を伝えることをコンセプトに企画されました。当日は、首都圏から13名が参加し、『長ナスのトンネルをくぐっての収穫』や『農家のお母さんと一緒に地元食材を使用した郷土食「おざら」作り』などの体験を行いました。

ツアー実施後のアンケートには、『農家から直接野菜栽培の話が聞けて良かった。』『おざら作りという貴重な体験ができて楽しかった。とりたて野菜がとてもおいしかった。』などの意見が寄せられました。

これらの意見等を参考に、今後も都市と農村との交流を図っていきます。



郷土食
「おざら」作り体験!



調理が楽しみ!秋長ナスの収穫!

峡東地域では果樹の援農者育成に取り組んでいます。



ブドウ房づくり

峡東地域の果樹産地では、高齢化や兼業化などによる労働力の不足を補うため、援農者の育成や援農体制の整備に取り組んでいます。

JAフルーツ山梨では、毎年、果樹作業の援農希望者を募集し、モモ・ブドウの基本作業の講習会開催や、農家と援農希望者のマッチングを行い、果樹農家の労力確保につなげています。

笛吹市では、笛吹市援農支援センターとJAふえふき営農支援センターが中心となり、年間を通じた援農者向けの技術講習会を開催しています。今年度は、需要が増えている品目・作業内容を新たに加えながら、幅広い作業に対応できる援農者を育成しています。

両地区とも、普及センターやJAの関係者が講師となり、実習中心の指導を実施する他、農家や援農者を対象にアンケート調査を行い、取組内容の改善に役立てています。

今後も普及センターでは、市やJA等関係機関と連携し、地域に適した援農者の確保育成や援農の有効活用に向けた取組を推進していきます。



ブドウ摘み後の出荷前品質確認